

2017春季生活闘争解決促進地場組合支援交流会

5月24日(水)ホテルニュー長崎において、構成組織・単組の組合員と地協役員等、約50名が参加し「2017春季生活闘争解決促進地場組合支援交流会」を開催しました。この交流会は、春季生活闘争において地場・中小労組の激励・支援や長崎地協構成組合相互の情報共有・交流を目的に例年開催しています。



長崎地協 酒井議長あいさつ

はじめに主催者を代表し長崎地協 酒井議長(長崎地協春季生活闘争本部長)が挨拶を行い、「大手についてはすでに一定の成果を引き出しているが、中小においてはまだ納得のいく回答を得られていないというところが多い。経営側は業績については一時金で反映したいという考えであるが、私たちの安定した生活のためにはベースアップという賃金の増額が最も重要である。今後も引き続き粘り強く交渉を続け、結果を引き出していきたい」と述べました。

続いて、長崎地協 芳川事務局長より「2017春闘連合長崎地協の取り組み」として、長崎地協の取り組み報告や、連合本部の中間まとめに触れ、「『底上げ・底支え』『格差是正』をめざした取り組みにより、中小組合が大手組合ならびに昨年実績を上回る回答を獲得できたことが、今年の特徴的な成果である。」と述べました。

引き続き、連合長崎地場中小状況報告として、

2017春闘の交渉・回答状況について連合長崎佐竹副事務局長より、また産別・単組からの報告として、交通労連の橋田事務局長、長崎電業労組(電力総連)の小柳委員長よりそれぞれ報告を受けました。

合長崎・長崎地域協議会



連合長崎 佐竹副事務局長



交通労連 橋田事務局長

長崎電業労組(電力総連)
小柳委員長

集会終了後には交流会を開催し、参加者は交流を深めながら、情報交換を行いました。

最後に長崎地協・宮本副議長の「団結がんばろう」で最後まで闘い抜くことを確認し、交流会を締めくりました。



連合長崎地協・長崎地区労福協 共催

納涼ビアパーティー



7月18日(火)、連合長崎地協・長崎地区労福協の共催による「納涼ビアパーティー」をANAクラウンプラザホテルにて開催、組合員やご家族・退職者・事業団体など約150名の方にご参加いただきました。パーティーでは、アトラクションとして「琉球國祭り太鼓」によるエイサーを披露いただき、参加者のみなさんも一緒になって盛り上がりました。さらに、抽選会などを交え、参加者は歓談をしながら交流を深めていました。



琉球國祭り太鼓のみなさんによるエイサー



1等を獲得した三菱長船OB会 金谷さん

平和行動in沖縄

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和の実現を～

沖縄県は6月23日を太平洋戦争における沖縄戦の終結した日として、慰霊の日に制定しています。この慰霊の日にあわせ、連合は6月23日～25日に「2017平和行動in沖縄」を開催し、連合長崎から28名、うち長崎地協より1名が参加しました。

○2017平和オキナワ集会

第1部では「語り部から学ぶ沖縄戦の実相」の演題で伊江島観光バス社長の山城克己さんから、さまざまな体験から学んだ沖縄戦の講演を受けました。第2部の平和式典では、主催者挨拶のあと、平和メッセージをはじめ、連合広島へのピースリレー、平和アピールが行われました。



○「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位定の抜本的見直し」を求める行動

沖縄県庁前で開催された集会に参加、引き続き、国際通りを牧志公園までデモ行進を行いました。



○フィールドワーク

南部戦跡フィールドワークとして、旧海軍司令部壕、平和祈念公園(摩文仁の丘)、ひめゆりの塔等を巡りました。

